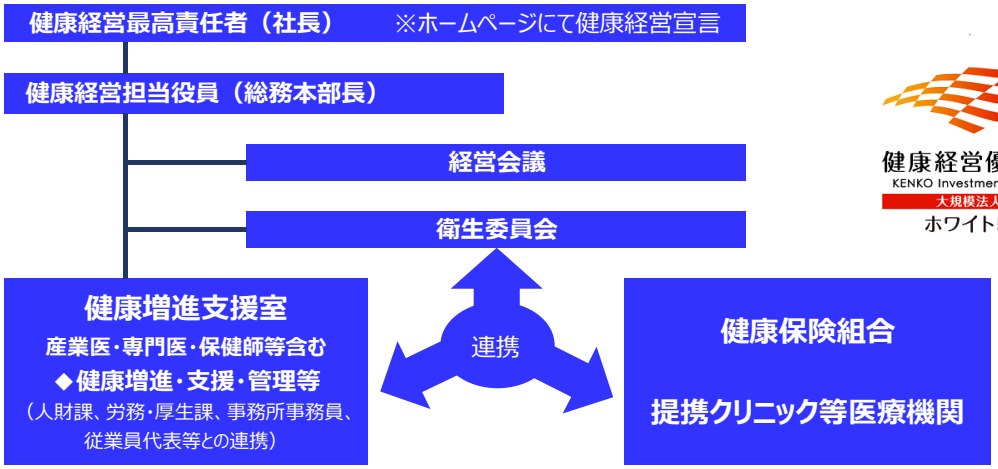
健康経営推進体制



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

当社では、代表取締役社長を健康経営最高責任者、総務本部長を健康経営担当役員として、全社的な健康経営を推進しています。健康増進支援室を中心に、産業医、保健師、健康保険組合、人財課、労務・厚生課、従業員代表等と連携しながら、社員の健康課題の把握、健康増進施策の企画・実施及び健康管理に取り組んでいます。
また、健康課題や各種健康指標の状況、施策の実施結果については、経営会議及び衛生委員会等へ定期的に報告し、課題の共有や改善策の検討を行うことで、継続的な健康経営の推進と職場環境の向上に努めています。

健康経営への取り組み【1】 健康増進・支援、ワークライフバランス

■健康診断受診率100%

「健診予約システム」により提携クリニックの健診予約がインターネットで24時間いつでも可能です。人間ドックは95%を会社が負担、定期健康診断では法令項目に9項目の検査を加え、様々な角度から疾病等の早期発見に努めています。また、100%の受診率とともに、再検査の受診奨励の徹底、および健康リスク（血圧、糖質、脂質）ゼロ率を2028年度には40%まで引き上げることを目標としています。なお、特定健康指導継続率は52.8%です。

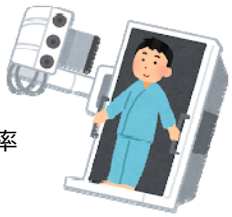
●健康診断受診率（人間ドック含む）

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
100%	100%	100%	100%

※2025年度:健康診断後の精密検査受診率73.8%







◇健康診断問診結果から健康リテラシーの高い社員割合
2024年度:93.7%　2025年度:94.3%

◇健康診断問診結果から適正体重維持者率
2024年度:61.4%　2025年度:60.0%

■ストレスチェック受検率90%以上

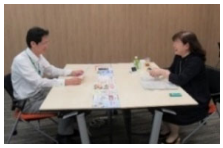
ストレスチェックの結果をもとに社員、管理者へのメンタルヘルス研修を実施（セルフケア、ラインケア）。100%の受講率となっています。また、当社契約の心療内科医、カウンセラーによる無料メンタルケア等を実施し早期予防・早期対応に努めています。特にカウンセリングによる早期対応は、メンタル不調者を減らす効果があり、ストレスを少しでも感じた方には早めのカウンセリングを推奨しています。長期休職者も25%減となりました。

●ストレスチェック受検率

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
98.9%	98.2%	98.9%	98.5%

◇高ストレス者率 2025年度:6.4% ◇高エンゲージメント割合 2025年度:11.1%





●社員の生産性や組織の活性化等に関する評価指標

項目	2024年度	2025年度	測定方法
アブセンティーズム	0.5日	0.5日	傷病休職制度の利用日数の全従業員平均（傷病を理由とした欠勤は未把握）
プレゼンティーイズム	24.7%	24.9%	病気や怪我がない時を100%とした場合、過去4週間の仕事の評価1～101%で評価した際の損失割合
ワーク・エンゲージメント	50.1点	50.1点	ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度超短縮版3項目を組み入れて測定した全従業員偏差値（81がMAX）

※2025年度 各評価指標の測定人数1334人 回答率98.5%

■健康リテラシーの向上イベントの実施とコミュニケーションの強化促進

健康イベント「くうねるあるく+ふせぐ」により健康的な食事への改善、疲労回復の睡眠方法、適切な運動（1日6,000歩）、セミナーやアプリを使用して実施。また、このイベントがコミュニケーションツールとして活用。また、事務所に訪問し全社員を対象に睡眠等をはじめとするセミナーを開催していま

●施策参加状況　〈参考〉参加投資額：50万円

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
572名	734名	982名	1,172名

※2025年度 施策満足度88.1%





◇健康診断問診結果からの運動習慣者率（週2回以上）
2024年度:35.4%　2025年度:24.3%

■労働時間の適正化とワークライフバランスの向上

BIによる独自の勤怠管理分析ツールを開発し、「労働時間の把握」及び「適切な時間外労働管理」「休暇取得管理」が確認でき、労働時間の適正化を図っています。また、月1回の部長・所長合同会議において会社全体を把握し、ワークライフバランス・健康保持の向上に努めています。

総労働時間（1人当たり）

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1883時間	1877時間	1871時間	1855時間

※スライド勤務等、多様な就労形態を導入

※長時間労働者への面談実施

年間有給休暇取得日数（1人当たり）

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
13.6日	14.1日	14.0日	14.9日

※別途、夏季休暇7日、時短と健康休暇3日等の特別休暇も取得。



健康経営への取り組み【2】 職場復帰支援、仕事と治療・介護等の両立支援

■長期休養期間からサポート、職場復帰支援、仕事と介護等の両立支援の促進

・傷病や介護等で長期休養の社員へは状況により産業医、産業看護師等と連携し、職場復帰のサポートを実施しています。また、復帰後、傷病者へはリハビリ勤務等の継続サポート、介護等の社員には仕事と介護、育児も含めた両立支援制度でサポートしています。社員の皆様が安心して勤務にあたれる環境に努めています。

健康経営への取り組み【3】 女性社員の働き方改革・産後パパ育休の促進

■女性社員への健康支援・産後パパ育休応援・ワークライフバランスの向上

・婦人科健診の補助を充実。産業医、看護師等と連携し女性特有の健康支援を促進しています。
・生理休暇と不妊治療休暇を合わせ、「サポート休暇」を創設。男性社員も取得可能です。
・女性技術者が働きやすい環境づくりを目指し設立した「女性技術者ネットワーク」組織と連携した職場環境整備をしています。
　※2025年度 管理職向け女性の健康課題に関する研修参加状況 44.6%
・女性のライフイベントに応じた制度やその利用手続きについて、わかりやすくまとめた「子育て支援に関するガイドブック」を作成し、働くママたちを応援するとともに、男性社員の育児を応援する「産後パパ育休」の促進も実施しています。



健康経営への取り組み【4】 パンデミック・感染予防対策

■5類以降のコロナ感染防止対策やインフルエンザ等の感染予防対策

5類以降も新型コロナウイルス感染防止対策として、手洗い、消毒、検温、必要に応じたマスク着用を実施しています。また、本社・事務所においてインフルエンザ集団予防接種を実施し、インフルエンザの感染防止にも努めています。
24時間365日高速道路を守る当社は常にパンデミック対策に努めています。

●インフルエンザ予防接種受診率

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
84.6%	83.8%	75.9%	63.3%

※2025年度は各事業場で実施したインフルエンザ集団予防接種受診率のみ（他年度は各個人で医療機関で受診した件数を含む）



健康経営への取り組み【5】 SDGs（すべての人に健康と福祉を）

■献血に協力（個人でできる社会貢献として積極的に取り組んでいます）

血液は常に不足していることから、本社等会議室を利用し献血に協力しています。
献血は個人でできる社会貢献として、大勢の社員の皆様が積極的に参加しています。





健康経営への取り組み【6】 労働安全衛生・リスクマネジメント

■安全衛生委員会の活動状況

当社「品質安全推進室」を主幹とし、本社・各事務所において「安全衛生委員会」等を毎月開催し、労使一体となった調査審議の場を設けているほか、役員・所属長会議において、中央安全衛生委員会として労働安全衛生活動の報告等を実施しています。

【主な活動】
1.労働災害等に関する報告（リスク評価、労働災害件数など）
2.労働衛生の3管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）に関する対策等に関すること